

本校では、学校教育目標の実現に向け、令和7年度から令和9年度の期間を対象に「中期学校経営方針」を定めています。次の資料は、中期取組目標を達成するために定めた、令和8年度の取組目標と具体的取組です。ご家庭や地域の方々、関係諸機関の皆さまにご理解いただき、今年度も本校教育活動にご協力をくださいますよう、お願いいたします。なお、年度末には、保護者や地域の方にもご意見を頂戴しながら評価（反省）をし、結果をお知らせいたします。

横浜市立東俣野特別支援学校 小中高部 令和7-9年度版 中期学校経営方針（令和8年度修正）

学校教育目標	【目指す学校像】「えがおいっぱい ふれあいいっぱい あたたかさいっぱい」な学校						
	【学校教育目標】 ○ 主体的対話的に学ぶ中で、気持ちや思いを表現する力を育てます。(知) ○ 周囲の人を大切に思い、関わりを深めていこうとする力を育てます。(徳) ○ 自分の心身の健康を大事に考えながら、保持増進していこうとする力を育てます(体) ○ 地域の一員として、社会の中で生活していく力を育てます。(公) ○ 学校・地域・社会の中で、自分の思いを伝えながら共に生きていこうとする力を育てます。(開)						

学校概要	創立	41	周年	学校長	吉田 良直	副校長	海瀬 茂	二期制	学年制									
	幼児・児童・生徒数	38	人	幼稚部		人	小学部	19	人	中学部	9	人	高等部本科	10	人	専攻科		人

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力を踏まえた 「12年間で育てる子ども像」と具体的取組
<p style="text-align: center;"><自己表現力> <健康で、よりよく生きようとする力> <地域の中で、共に生きていこうとする力></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人との関わりの中で、自分なりの表現ができる子ども ・自身の健康や体調を考えながら、よりよく生きていこうとする子ども ・地域の一員となり、自己実現を図っていこうとする子ども <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・思いや願いを、表情やしぐさからも大切に汲み取り、授業展開や指導の評価に反映します。 ・肢体不自由の障害の状況や特性に応じ、主体的に学ぶためのICT機器の効果的な活用により、持てる力や可能性を最大限に伸ばし、自己実現を支援します。 ・小学校中学校との交流及び共同学習、地域行事への積極的な参加、ボランティアとの関わりなどにより、地域の一員として主体的に関わっていこうとする意欲を育みます。

中期取組目標	<p>○ 一人ひとりの状況、思いや願いを基に、周囲の人との関わり合いを大切にしながら、主体的で体験を重視した学びを充実させます。</p> <p>① 校内外の研修を通じて授業力や指導力の向上させ、ICT機器を効果的に活用することで、「主体的・対話的で深い学び」につなげ、自己肯定感・自己有用感を育みます。</p> <p>② 障害の状態や特性についての理解を深め、個に応じた適切な指導支援を行うことで、自分の思いを伝えようとする意欲を育みます。</p> <p>③ 小中学校、地域、関係機関、保護者と連携し、多くの人と関わる機会を増やすことで、社会や人と積極的に関わっていこうとする意欲を育みます。</p>
--------	--

重点取組分野		具体的取組
知	生きて働く知	①児童生徒の思いや願いを把握し、一人ひとりの目指す資質・能力を育むための授業改善に努めます。 ②個別の指導計画の作成を行い、保護者と合意形成を図りながら段階的に個に応じた指導の充実を図ります。
担当	教育課程係・総務係	
徳	豊かな心	①東俣野小学校や大正中学校、地域などとの交流を行い地域への理解を広め、地域社会での生活経験を充実させます。 ②教職員への人権研修や児童生徒への人権教育を通して教職員の人権意識を高めるとともに、人権意識を大切に組織作りに取り組みます。
担当	交流係	
体	健康保持と増進	①児童生徒一人ひとりの障害の状況に応じた適切な(医療的)ケアに取り組みます。 ②児童生徒の持てる力や可能性を引出し、個々に応じた取り組みを充実させ、体力増進と健康管理を推進します。
担当	医療的ケア係・保健安全係	
公開	開かれた学校	①学校運営協議会と地域学校協働活動を通して、地域と学校の連携・協働を推進し、更なる児童生徒の豊かな学びを充実させていきます。 ②オープンスクールの実施や地域への情報発信を通して、本校の教育や児童生徒の理解啓発を図ります。 ③「すぐる」やPTA定例会等を活用し、保護者全体への情報の周知や意見交換をしていきます。
担当	主幹等会	
いじめへの対応		①日々のクラスでの振り返りに加え、小学部・中学部・高等部での連携を充実させ、児童生徒の小さな変化を見逃さずに学校全体で共有し対応できるようにします。 ②毎月のいじめ防止対策検討委員会においていじめや人権にかかわる事案の確認・対応を行います。
担当	いじめ検討委員会	
人材育成・組織運営(働き方)		①組織編成の見直し後、会議の運営状況を確認し、改善を目指し、組織運営の充実を図ります。 ②学校組織の目標と個々の教員の成長をリンクさせ意識的に研さんしていくために、各キャリアステージに応じた自己目標を年度当初にチーム内で共有する。ミニ研修会などを活用して教職員の研修の機会を保持する。
担当	総務係・研究研修係	
キャリア教育		①個々の実態に即した自分づくりパスポートの作成に向けて、目標設定・振り返りの内容が学校と家庭とで共有しやすいような方法で、児童生徒理解を深めていきます。また、ICT端末を活用しながらその時々での積み重ねを反映できるように努めていきます。 ②各学部との連携を強め、就労や福祉サービス等を見据え、実習等での福祉資源の活用を通して、一人ひとりの自己実現に向けた進路支援を行います。また、進路学習に対する事前事後学習に丁寧に取り組んでいきます。そして、各学級懇談会やサポートニュース等において進路情報の提供を積極的に行います。
担当	進路支援係	
安全安心な学校		①防災防犯に関する行事を見直すと共に防災防犯に関する備品の整理管理に努めます。 ②本校の実態に応じた環境整備と感染症対策を施しつつ、安心安全な環境づくりに努めます。
担当	保健安全係	